データティップにスタイルを付ける

コントロールスクリプトを使うとデータティップの機能を拡張することができます。データティップは画面中のレイ ヤから表示されますが、コントロールスクリプトでその外観を変えることができます。レイアウトやグループ内の各レ イヤに対してデータティップを設定した後、表示ウィンドウのオプションメニューから全レイヤのデータティップを表 示するか、表示しているレイヤのデータティップを表示するか、アクティブ状態もしくは一番上のレイヤのデータティッ プを表示するか、またはデータティップを何も表示しないか、を選べます。データティップの内容は〈レイヤコントロー ル〉ウィンドウから設定します。データティップはレイヤに含まれるテーブルの任意のフィールドを表示することがで きます。演算フィールドも使用できます。演算フィールドを使うと複数のフィールド情報を複数行にわたって表示したり、 スタイルコードを組み込んだり、データベースのコードを分かりやすい表現に変えたりできます。例えば、ここの図のデー タティップの上7行は1枚の土地区画レイヤからの情報です。データティップには太字や色の違うテキストが使われて います。氾濫原フィールドのコード値の0が非氾濫原、1が100年氾濫原、2が出水路、5が500年氾濫原に表示され ています。コントロールスクリプトはデータティップの内容に関係なく全てのデータティップに適用されます。



TNT 製品のスクリプト言語の機能を解説する多くのサンプルスクリプトが用意されています。これらのスクリプトは www.microimages.com/ downloads/scripts.htm よりダウンロードできます。

見出しを付けて属性により背景色を変えるスクリプト



テキストの書式設定制御コード

太字のテキストを作成したり、フォントを変更したり、タブを挿入したり、その他の効果を付けるのに使われる書式設 定制御コードは以下の通りです。波括弧内 ({ }) には、いくつでも制御コードを入れられます。計算フィールドにおいて、 書式設定コードはテキストであることを指定するために引用符で囲むか、テキストをデータベースフィールドの値から 引用する場合はそれ自体を引用符で囲む必要があります。

{~LJ} {~RJ}	テキストの左揃え テキストの右揃え	{~BX} {~/BX}	囲み文字 囲みを解除
{~CJ}	テキストの中央揃え	{~S+}	上付き文字
{~FJ}	テキストの均等配置 (右と左のマージンを均等にする)	{~S-}	下付き文字
		{~S0}	上付き文字と下付き文字を解除する。その他のスタイル設定は維持
{~B}	太字		する。
{~/B}	太字を解除	{~AN}	後で重ね刷りするために、テキストのアンカー位置を設定する。
{~BWx}	x(テキストサイズの%)の幅で太字にする	{~OS}	このコマンドに続くテキストが、前にあるテキストに重ね刷りされ
{~ }	デフォルトの傾斜角度 (16 度) のイタリック体		ます。{~AN} により最後に設定されたアンカーから始まります。
{~/ }	イタリック体を解除	{~SM}	スムージング(平滑化)
{~IAx}	イタリック体の傾斜角度をx度で指定	{~/SM}	スムージング(平滑化)を解除
{~U}	下線	{~K}	カーニング(文字間調整)
{~/U}	下線を解除	{~/K}	カーニング(文字間調整)を解除
{~0}	アウトライン(白抜き)文字	())	
{~/0}	アウトライン(白抜き)文字を解除	{~GI Rx}	文字の回転 (x: 度で角度を指定)
{~F}	第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	{~IG}	文字を垂直方向に反転
{~/F}	強調文字を解除	{~/IG}	通堂のテキストの方向に戻す
	強調ヘチャアが 強調のテセフトサイブ値を y で 生 ウィートサイブの ()	(//0)	远市07717107月10尺9
		(TSv)	テキフトサイブをメポイントに設定
(/CLI)	影付き文字	{~ISA}	ノイストリースをスホーノトに改定
{~/SH}	影判さ乂子を胜际 ギールド イタリックケーズ線 マカレニノン(ウサキ)	{~LSX}	17 10 開をX 小1 ノトに改正
{~N}	ホールト、イダリック体、ト線、アワトライン(日抜さ)、	{~Cr,g,b}	又字巴を RGB 値 (設定 (0 ~ 100)
	強調、影付き、上付き文字、下付き文字を解除	{~C[BG]r,g	,b} テキストの背景色を設定 (0 ~ 100 の各 RGB 値)
	{~Fname} フォント名を "name" で指定		フォント名を "name" で指定

{~TABS xjl}

タブを設定します。文字位置 x の所にタブ位置を置きます。j(オプション)は行揃えのタイプを示します (R は右揃え、L は左揃え、C は中央揃え、 デフォルトは L)。I(オプション)は、タブ位置の前の引き出し線のタイプを示します。(デフォルトでは引き出し線はありません。このオプション としては "."、"-" または "_" などが使えます。)1 つのタブの間隔を指定すると、その間隔は他のタブに対しても適用されます(例えば、3 個のタ ブのうち最初のタブに対して 0.5 インチの間隔を指定すると、3 個全部のタブが 0.5 インチの間隔になります)。複数のタブに対して同時に、個々 のタブ間隔をカンマで区切って指定することもできます(例えば、{~TABS 0.5, 1.5, 3R})。